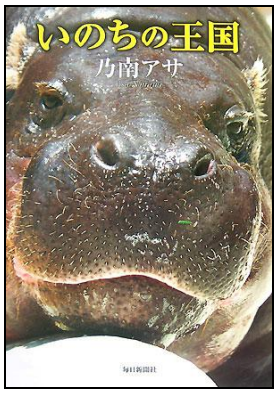
月刊 あなたにこの本を！ 平成 20 年 7 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



いのちの王国

乃南アサ 著
毎日新聞社 1680 円（0011560061）

ジャンル ： 自然・環境を考える

本書は、動物好きの著者が、一年余りかけて全国 18 の動物園・水族館を巡ったエッセイ集だ。個性豊かな生き物たちとの出会いの喜びや、動物園の新たな試み、問題点などを素直な筆致でつづる。「一つ一つのいのちの姿」を見た著者が繰り返し語るのは、「失われた種は戻らない。いのちを絶やしてはならない」ということだ。添えられた写真は、動物たちの生き生きとした一瞬の表情を映し出しており、いのちのきらめきと重みが深く心に迫る。 〔480.7〕

上司のモヤモヤ ―部課長の相談に乗って20年！―

清水佑三 著
講談社 1470 円（0011610410）

ジャンル ： 現代社会を見つめる

本書は、部課長の相談に乗って 20 年、人事コンサルティング会社社長の著者による、上司たちの質問と回答を一冊にまとめた問答集だ。「背が低くても管理職は勤まりますか？」など、一見他愛なく思える悩みにも、ユーモアを交えながら丁寧に回答。傍からは完璧(ぺき)に見える上司たちが、小さなことにも真剣に悩んでいる様子がリアルに伝わってくる。会社の人間関係に疲れた時や、上司が自分を分かってくれないと感じた時に、肩の力を抜いてくれる一冊。〔336.3〕

大阪遺跡 ―出土品・遺構は語るなにわ発掘物語―

大阪市文化財協会 編
創元社 1890 円（0011613527）

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

大阪では、ビルや住宅の下で眠っている遺物が、毎日のように掘り起こされている。森之宮の縄文人骨、長原の古墳や埴輪（はにわ）、喜連東の中世陶磁器に、道修町の近世町家跡など、実に多様なものが出土している。それらの発掘物から 120 点を選び出し、そこに携わってきた学芸員や調査員が、淡々とした中にも熱のこもった言葉で紹介する。多くの地図や写真、章末には発掘裏話のコラムもあり、なにわの歴史を堪能できる一冊である。 〔216.3〕

パパカ、はじめよう！　ー子どもで人生を変えた男たちー

歌代幸子　著　　**ジャンル ： 子どもの成長のために**

オレンジページ　1575円（0011597999）

今、男性の育児参加が注目されている。著者は8人の父親へのインタビューを通して、積極的に育児にかかわる新しい父親像に迫る。そのうちの一人、父親同士で絵本のお話会を催す男性は「父親であることを楽しむ」生き方を応援するNPO法人を立ち上げた。本書に登場する父親たちは職業も世代も違い人生模様は様々だが、子どもと過ごして得た感動から創造力や行動力を生み出す姿は力強く、頼もしい。親と子が生き生きと暮らす手引きになる。　〔367.3〕

まち歩きが観光を変える　ー長崎さるく博プロデュサー・ノートー

ジャンル ： 現代社会を見つめる

茶谷幸治　著

学芸出版社　1680円（0011587594）

「さるく」とは「ぶらぶら歩く」という意味の長崎弁。2006年開催の長崎さるく博は、文字通り「まち歩き」を主体にした日本初の博覧会であった。市民が案内役となり、観光客と一緒にまちを歩くというスタイルは、日本中の注目を集めた。本書は、プロデューサーとしてこのイベントに関わった著者が、準備段階からの三年間をまとめたレポートだ。長崎らしい観光パターンを生み出そうと奮闘した人々の、郷土への思い入れが感じられる。　〔688〕

日本人の愛した色

吉岡幸雄　著　　**ジャンル ： 歴史・文化に親しむ**

新潮社　1260 円（0011576861）

藤ノ木古墳の石棺の朱丹(しゅたん)、源氏物語の様々な紅色など、日本人は古来より赤色を尊重し、染色技術を発展させてきた。紫や茶などいくつかの色を取り上げ、数々の文献や今も残る工芸品等から世情や染色の様子を再現し、日本人と色の関係を読み解く。美術書の出版を通じて優れた染織品に接してきた著者は、天然素材による染色にも取り組む。その語り口からは、先達への尊敬と親しみがあふれている。日本人の色彩感覚の細やかさに圧倒される。　〔757〕

「箱根駅伝」　ー不可能に挑んだ男たちー

原島由美子　著　　**ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ**

ヴィレッジブックス　1575円（0011561741）

1987年の箱根駅伝史上初の生中継をつづったドキュメンタリー。スポーツライターの著者が関係者40人以上の証言をもとに、当時を振り返る。その頃の中継技術では、生の映像を長時間つなぐのは不可能といわれていた。しかし、スタッフ700人、カメラ60台、準備期間は丸2年、という大規模な計画で、彼らは電波というタスキをつなぐことに挑戦した。それぞれの立場から駅伝中継に携わった人々の熱い思いに胸が震える。　〔699.6〕

アイドルのウエストはなぜ 58 センチなのか　ー数のサブリミナル効果ー

ジャンル ： 知識・教養を深める

飯田朝子　著

小学館　787 円（0011596349）

本書では、数のイメージで意識を操作されてしまうことを「数(かず)リミナル効果」と呼び、標題のほかにも様々な実例を紹介する。また、「ひとつ、ふたつ」という和語数詞の謎が明かされるほか、ヤツデの葉は八枚でない、二十は「果て」であるなど、数について多くの考察が述べられる。大学准教授の著者が自主ゼミのメンバーの協力でまとめた、新しい切り口の日本語論であり、日本文化論でもある。奥の深い不思議な数の世界に、夢中になってしまう。　〔815〕